

秋のハイキング会

奈良街道・伊勢街道・初瀬街道を歩く

令和5年11月11日（土）

1. ルート 近鉄中川駅～奈良街道～月本追分～伊勢街道～六軒分岐～
初瀬街道～嬉野ふるさと会館公園(昼食)～近鉄中川駅
12.0km (17,500歩)
2. 参加者 伊藤利男・伊橋健治・喜吉 雄・塩野輝雄・高木 勉
中村 衛・中村軍志・福本 泉・溝川伸一・濱田 一
10名
3. ドキュメント

10月まで暑かった夏もどこへやら伊勢路にもやっと秋らしい陽気が訪れた。でも里の紅葉を観られるまでには今しばらくはかかるだろう。そんな中、秋のハイキング会を実施した。今回は奈良街道・伊勢街道・初瀬街道が分岐する松阪市の旧嬉野町、旧三雲村を歩く計画を立てる。10時10分、中川駅に集合し駅前で溝川支部長のあいさつを受けて歩き始める。中川駅は20～30年前までは田園の中の近鉄大阪線と名古屋線の単なる乗換駅でしかなかったけれども現在は周辺に住宅地が開発され、商業施設も進出して大きな町を形成している。



近鉄中川駅前で支部長のあいさつ

中川駅から東の方向に歩いていくと住宅団地に差し掛かる。さらに進んでいくと20分ほどで奈良街道に合流する。この街道は既に道幅が拡幅され昔の面影は何も残っていない。道筋に食料油の辻製油の工場がある。中勢バイパスの下を潜り、JR紀勢本線の踏切を渡ると伊勢街道の月本追分に到達する。



奈良街道を歩く



辻製油の工場



奈良街道＝ 伊勢街道の月本追分(松阪市中林町)から伊賀街道の合流点まで(津市美里町)
伊賀街道ができるまでは奈良まで通じていた

伊勢街道＝ 東海道の日永の追分(四日市市日永)から伊勢神宮内宮の宇治橋まで

初瀬街道＝ 伊勢街道の分岐点六軒(松阪市六軒)から青山峠を越え名張を経て奈良県の初瀬に至る



月本追分の常夜灯：背丈と比べても相当高い



花崗岩の道標

月本追分には道標と常夜灯が残っており、伊勢街道最大の道標(3 m10cm)には「月本追分」「右さんぐうみち」「やまと七在所順道」と書かれていた。その昔はこの付近に宿所が多くあったそうだけれどもその面影は感じることは出来ない。ひと休みした後、伊勢街道を南に向けて歩く。



「右からす道」の道標

追分から500mほど歩いたところに「右からす道」の道標がある。伊勢街道の脇道として引き潮の時に使われたようだ。しばらく行くと小さな常夜灯の傍に「右津みち」「左さんぐう道」の道標を見ることが出来た。さらに南に向かっていくと入母屋型の小さな常夜灯が目につき、その傍に「右まつさか及山田〇〇」の道標があったが下部が埋まっていた読み取れない。この付近には多くの遺構が残っていて近代化の中でも残すことに努力してきた人々に感謝!!

三渡川に到達したのは12時ごろ、お腹の虫が何かを求めて騒ぐ、誰かさん「腹減った…」とつぶやく。予定通りもう少し頑張ろう。この川は渡し口が三か所あったところから三渡川と呼ばれたとのこと。



「右津みち」の道標



「左さんぐう道」の道標と常夜灯



小さな常夜灯と埋もれた道標



三渡川と橋



三渡川の南詰に立つ道標

三渡橋を渡ったところに道標が建っている。ここが初瀬街道の分岐で「いがごえ追分」「右いせみち」「やまとめぐりこうや道」と刻まれている。その筋向いには大きな常夜灯があり、照明をともし部分が新しく修復されている。その向かいに六軒茶屋があったと思われる所に格子戸の民家があった。



六軒の常夜灯

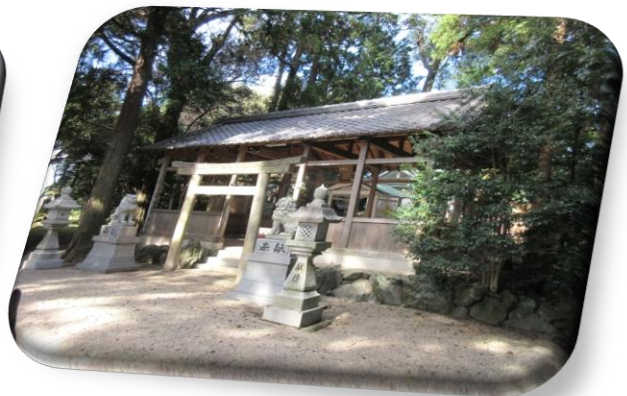


格子戸の民家

伊勢音頭の道中唄で『明日はお立ちかお名残惜しや六軒茶屋まで送りましょう。六軒茶屋の曲がりとてもみじのような手をつけて・・・』と歌われ多くの旅人で賑わったとのことである。



ピラカンサス



中原神社

伊勢街道に別れを告げて初瀬街道に入り、三渡橋の上流に架かる小さな橋を渡り返して嬉野津屋城町を歩く。近鉄中原駅の前を通りさらに西へ向かっていくと民家の庭に真っ赤に色付いたピラカンサスの実が秋を告げていた。この地の初瀬街道ではほとんど昔の面影を残すものは目にすることは出来ない。疲れた体にムチを得て歩いていくと右手にこんもりした森がありそこに中原神社が祀られていたのでみんなでお詣し一休みする。

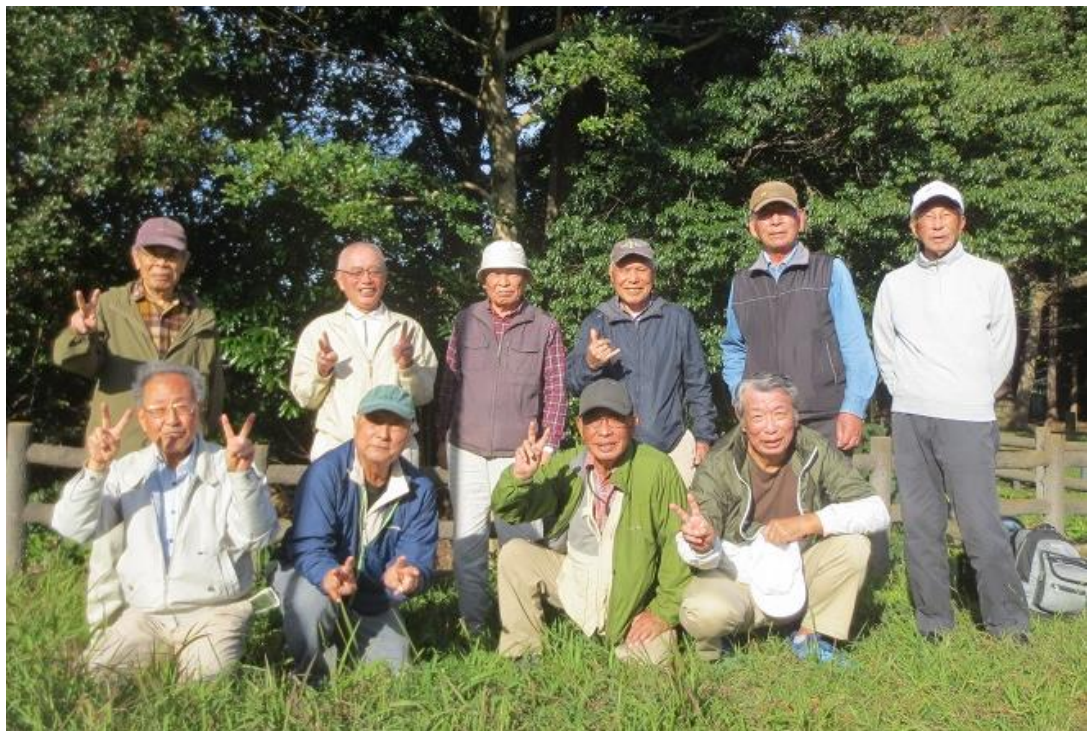


芝生広場でリラックス



何を思案しているのだろう

昼食の場所に予定していた嬉野ふるさと会館に到達したのは13時10分ごろであった。前庭の芝生広場をお借りして自前の弁当、コンビニ弁当、おにぎりと各々が持参の弁当を開く。コンビニで調達したビール・お酒と差し入れのワインで会話も進む。いつもながらのチョコレート、むき柿とお菓子の差し入れで花を添える。社友会・同僚・お互いの現状など語り合っている間に時間の過ぎるのは早くシートを片づけたのは14時30分ごろであった。千鳥足ならずしっかりした足取りで中川駅に戻り15時の電車で帰路に就く。



後列左から 高木勉・喜吉雄・中村衛・中村軍志・伊藤利男・塩野輝雄

前列左から 溝川伸一・福本泉・濱田一・伊橋健治 敬称略

[文責・濱田 一]